



研修旅行報告

2024年11月8日(土)

(研修旅行担当 大石、河合、藤井)

令和6年11月6日(水)～7日(木)は、福井県立恐竜博物館、年縞博物館、縄文博物館と博物館巡りの研修となりました。当日、大阪は晴れマークになっていましたが福井県の方は傘と曇りマークとなっています。

参加者は22名、元気に全員参加

集合場所 JR島本駅 8:50 8名 阪急水無瀬駅 9:00 14名

誰一人遅れることなく時間通りに出発

予定通り11:30頃に南条SAに到着。それぞれが好きなコーナーで昼食。SAに恐竜を見かけ数人で見物、準備されていた餌をあげると「フーツ」とスゴイ鼻息でビックリ！長い首も右に左に動いている。これは面白い！！子供に返ったように皆で楽しんだ。

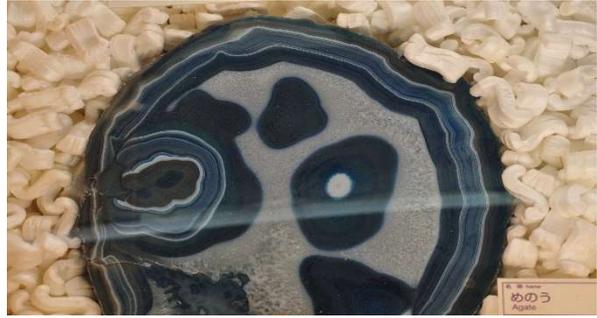


今回の目的であった恐竜博物館近くには至るところに沢山の可愛い恐竜が出迎えてくれている。



銀色に光るドーム内部にある常設展示室は「恐竜の世界」「地球の科学」「生命の歴史」から構成されている。入口から地下展示場までの長いエスカレーターから見える位置に年代を遡っていくというように工夫がされている。展示場に入ると恐竜時代に迷い込んだ気分になる。迫力のある展示、子供や大人が恐竜好きになるのが分かったような気がした。





(恐竜博士と師弟たち)

- 16:30 宿に到着 少々早いが温泉をゆっくりと楽しむ
- 18:00 夕食 食事を楽しみながらビンゴゲームに熱が入る(宝くじ当たりましたか?)
- 20:00 お開き その後、一つの部屋に集まり2次会を

(2日目)

宿を9:00に出発 三方五湖レインボーラインをドライブ、天気がもう一つ良くないので湖の色が?? 11:30 昼食 魚三にて



(水月湖畔にて)



(鰻重を前に満面の笑み)

13:00 年縞博物館・縄文博物館に向かう 先ずは年縞博物館へ 横に長い建物の博物館、担当して頂いた方の丁寧な説明に知識が深まり非常に満足したと皆さん、口々に言われていました。



(7万年の歴史が刻まれている長い建物の意味を理解)

次に隣接する縄文博物館の見学へ

年縞博物館の案内をして頂いた説明に興味を深まり気づけば時間が過ぎており

慌てて縄文博物館へ

縄文博物館の前では案内役の女性が待って下さっていた。

縄文をテーマにした博物館では縄文土器を集めた「土器の径」、床下には丸木舟の出土した状況を再現したコーナーや石斧などが展示されていた。



年縞博物館前にて



縄文の森の象徴(杉の大株)



丸木舟

一泊二日の研修旅行にあつという間に終わりました。少々寒かったですが、雨にも合わず無事に終えることができました。

記録 藤井良子